

日本基督教団 東中国教区ニュース



東中国教区
教区ニュース誌委員会
〒700-0008
倉敷市鶴形一五十五
倉敷キリスト会館内
TEL 086-422-1780

教区総会礼拝メッセージ

「いやしの余波」

玉島教会 牧師 三浦きょうこ

ヨハネによる福音書5章1節〜18節



エルサレムのベトザタの池。そこに五つの回廊があり、大勢の体の不自由な人が、水が動く

時、一番に池に入れればいやされると信じ、横たわっていた。中に38年もの間、病気で苦しみ、そこに横たわっていた人がいた。彼はこの池の奇蹟獲得競争に勝てずにいた。なぜなら、誰も彼を池に入れてくれる人がいなかったからである。彼は助け手を求めていた。そこで、イエスは彼を『見、

知り、言われた』。「良くなりたいか」。そして気持ちを確かめた上で、「起き上がりなさい。床を担いで歩きなさい」と言われた。その人はすぐに良くなって、自分の今までの人生であったマットを捨てることなく、担いで歩き出した。いまや彼は、五つの回廊から解放された。なぜなら、イエス自身が「動く水」だったからである。

ところがそれは安息日であった。ユダヤ人たちは、長く苦しんだ病人の快復を共に喜ぶわけでもなく、イエスの律法違反のみに目を向ける。「それはだれだ？」と質問されたその人は、彼に現れた力が誰によるものか知らない。匿名のイエスだ。しかし、良くなったのは事実だ。彼はしばし考える。そう、「今思えば、あれは恵みであった。」…

その後、イエスは神殿の境内でこの人を探しあて、「あなたは良くなったのだ。もう、罪を犯してはいけない。さもないと、もっと悪いことが起こるかもしれない。」

目次

教区総会礼拝メッセージ	1
議長挨拶	2
副議長挨拶	3
書記報告	4
新任教師の挨拶	5
教区内異動教師の報告	7
「狭山市民集会―60年分の涙雨―」編集後記	8

と言う。『もう罪の世界に戻ってはいけない、真の命の水であるイエスを見失ってはいけない』とイエスは声を掛ける。そうではないと彼はやっと得たまことの救いを失うことになるだろう。この時この人は、イエスを『知った』。そこで、そこを立ち去り、高らかに、自分をいやしたのはイエスだと語り出す。

さて、あの時、主イエスの言葉に起き上がらせていただいた私たち、「もう、罪を犯してはいけない。さもないと、もっと悪いことが起こるかもしれない。」と言われるイエスのお言葉をしっかりと心に受け止めたい。

「イエスの父は今もなお働いておられる。その子イエスも働いておられる。だから、わたしたち東中国教区も働くのだ。」共にいやしの恵みの内に働く共同体として、東中国教区が床を担いでどんどん歩いて行きますように。

「議長挨拶」

蕃山町教会 牧師 服部 修



第七十二回定期総会の選挙によって議長として再選されました蕃山町教会の服部修です。よろしくお願いいたします。

今回の教区総会は、一日目をオンラインにて議事を行い、二日目に鳥取・倉敷の二会場に分かれて選挙を行うかたちで総会を開催することができました。日程的には二日間ですが、二週間にわたる総会の日程であるにもかかわらず皆さまからのご協力をいただき、すべての議事と選挙を無事執り行うことができたことが先ず感謝でした。

現在東中国教区では「将来的東中国教区宣教に関する件」が継続的に議されておられ、議長としてその議事を進めて行くための重大な責任を改めて実感しているところです。一方で長年にわたって繰り返し話し合われてきたことが、少しずつ形になり始めているように感じられます。特に東中国教区は日本基督教団の中で二番目に小さな教区でもあるのですが、小さな教区であることをむしろ利点と捉え、東中国教区だからこそできることを実現し、それが他教区にまで良い影響を与えることができるような動きになれば良いと考えています。

特に今総会にて骨子を四点示し、皆さまにこの方向性で進めることが理解されましたので新執行部全体で骨子の具体化に取り組んで行けるよう励みたいと思います。そのためにも皆さまの協力は欠かせません。小さな教区ゆえに、教区の働きを担うために一人一人の労も決して小さくはありませんが、皆で出来ることを分かち合いつつ教区の宣教の働きを豊かにしてゆきたいと

願っています。

加えて、宣教の働きを豊かにするためには信仰告白に基づく一致が大切であると考えています。前回議長に選出された際にも記しましたが、教憲において教区が「地域的共同体」と表現されている恵みの中で、力を合わせて宣教に励み、主の栄光を現し続けることが重要だと理解しています。この一致のもとにあつて、それぞれの地域、それぞれの教会の特色が、イエスさまの愛の豊かさを示す働きになると考えているからです。人間の業ですから失敗もあれば間違いもありますし、小さなことしかできないのも事実です。でもだからこそ、できることを誠実に為したいといつも願っています。

議長の務めは皆さまの祈りの支えが必要です。どうぞ三役のため、常置委員会の働きのためご加禱ください。東中国教区にあつてともに宣教の業に喜びをもって仕えてまいりたいと思います。

「副議長挨拶」

倉敷教会 牧師 中井大介



「東中国教区将来的宣教について」という議案が取り扱われるようになっていきました。今期は議案の精神を具体化していく中で、オンライン環境整備のための奉仕チームをつくり、複数教会でひとつのオンライン礼拝を共有して兼務代務教師にも継続的に担える宣教の環境を整備すること、信徒の少なくともなっている教会の孤立化を回避すること、等を目指します。この「東中国教区将来的宣教について」議案が生み出される契機となったのは、当教区の「教会強化

特別資金」の運用規程改定議案の議決によるものです。運用規程が改定され、資金運用のしくみが改革されてから地区長が主要構成メンバーとなっている教会強化特設委員会が始動し、地区の細かいニーズを汲み取り、配慮と献身の姿勢を大切に資金として運用されるようになっていきました。どんなに疲弊した教区であったとしても私たちのミッションは変わりません。主であるキリストを宣べ伝える業の継続において、できるだけ多様な人々が関わり「つながりが生きる」ネットワークを育てていくのです。このたび副議長に選出して頂けたことは、これらの環境に積極的に関わられる好機と考えています。教区内にある地区と委員会にきめ細かく関わることでできる副議長という立場を預けていただいたことを肝に銘じて奉仕させて頂きたく存じます。

先ごろ倉敷教会員であり、いま同志社大
学神学部在籍する青年信徒から「レモ
ネードスタンドin京都」を立ち上げたので
応援してほしいという清々しいメールを頂
戴しました。レモネードスタンドとはレモ

ネードを販売するカジュアルな屋台です。甘味をつけたレモン果汁の水割りであるレモネードは、誰にでもつくれる簡単で清々しい飲料です。アメリカではこどもが外でレモネードスタンドを設置してレモネードを販売し、ちいさなアルバイトとして定着していたそうです。あるとき、小児がんを患う少女が「自分と同じような病気のこどものために、収益を治療の研究費として寄付したい」と思い、自宅の庭にレモネードスタンドを開いたところ、この活動が全米で知られるようになり多額の寄付金が集まったそうです。それ以来、アメリカではレモネードスタンドで集めたお金を小児がん治療のために寄付するという文化が育ってきました。

「If the life gives you lemon, make lemonade!」

人生に試練（酸っぱいレモン）が与えられたなら、レモネードにしちゃおう（いい方向に向けてしまおう）。東中国教区においてもレモンをレモネードに変えて、ともに賛美を育てていきたいと願っています。

「書記報告」

湖山教会 牧師 木谷 実



第七十二回
東中国教区定
期総会が五月
二二日、二九
日と開催され
ました。総会

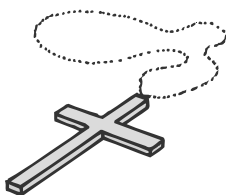
の準備は十二月一月に始まります。その時点ではまだコロナウイルス感染拡大の状況が読めず、対面での総会が開催できる保証はありませんでした。また今回の総会では教区三役及び常置委員選挙がありました。これを郵便投票で実施すると教区組織の確定が十月頃となってしまう、教区活動が大幅に遅れることとなってしまう。そのような事態を避けるため協議と採決のため一日目をオンライン、二日目は選挙のために両県に会場を分けてハイブリッドでの総会を計画しました。初め

での試みでしたので、皆さんにもご迷惑をおかけしたと思いますが、両日無事に終えることが適いました。これも議員お一人おひとりのご協力と、技術的な面や会場面でご尽力、それと神様の守りのおかげです。この場を借りて感謝申し上げます。

第七十二回定期総会で採決された大きな議案の一つに「将来的東中国教区宣教に関する件」がありました。そこでは複数のチームおよび部署の立ち上げが説明されていますが、その中の一つにオンラインサポートチームの編成が挙げられています。これは各教会がオンラインを用いての宣教活動をする際に教区からサポートするための組織です。コロナ禍で私たちは多くの機会を失いましたが、オンラインで教会・教区の活動を行うという技術と経験も手に入れました。今回の総会で実施したオンラインと対面の併用もその一つです。オンラインはやり方さえ分かれば体の状態や家庭の事情、距離に関わ

らず、礼拝や集会参加の可能性を広げることのできるツールです。もちろん全てをオンラインで行うことは適いません。しかしオンラインという余地を残していくことは、参加に広がりをもたせることのできる選択肢です。それらの可能性を感じることもできた教区総会でした。

そのような経験をもとに書記として働いていきたいです。教区書記に選出され二期目が始まりました。皆さんに支えられて無事に務めることがなかった一期目。二期目も皆さんにご協力していただきながら、働かせていただくことになると思いますので、どうぞよろしくお願いします。



「新任教師の挨拶」

倉吉教会 牧師 沖田康孝 おきた やすたか



三月三十日に倉吉教会に着任しました。初めての東中国教区です。

荷解きも終

わらぬまま倉吉教会と宗教法人日本基督教団倉吉教会附属めぐみ保育園理事兼園長の働きが始まり、責任の重さと「休日なし」の生活を満喫していると。園児の声に囲まれる環境で癒される毎日です。

主なる神と共なる人のお支えの中で、この地に居住し、共に歩みながら言葉を紡ぎだし、仕える働きを全うしてまいりたいと存じます。

倉吉教会の働きを祈りのうちにお覚え下さい。



倉吉上井教会 牧師 葛井義顕 ふじい よしあき



東中国教区の皆様、九州教区の飢肥教会から倉吉上井教会に転任して参りました。

た葛井義顕と申します。どうぞ宜しくお願い致します。

鳥取の地は私にとって非常に懐かしい思い出のある地です。幼少の頃、祖父が米子に住んでいました。長期休暇の度に、鳥取の地を訪れ、祖父と海水浴や釣りをした思い出が今でも私の心に残っています。この地に来るとどこか祖父が近くで応援してくれているように感じます。祖父はこの地で検事として励みました。私もこの地に於いて、牧師として神や教会、教区に仕えたいと決意しております。

現在、倉吉上井教会は厳しい財政状況の中で歩んでいます。しかしそのような状況にあっても、教会員の活動は活発であり、年に二度のバザーによって教会会計を支えようと励んで下さいます。誠実に御言葉を語り、誠実に牧会活動を行っていききたい。過去の様々な問題によって教会を離れた方々が教会に戻ってきて下さるよう邁進したい。どうぞ倉吉上井教会を覚えてお祈り下さい。

鳥取信和教会 牧師 塚本望 つかもと のぞむ



四月より鳥取信和教会の主任担任教師として赴任させて頂きました、塚本望と申します。三月までは埼玉県の深谷西鳥教会で担任教師として六年間お世話になっておりました。

深谷での生活は、日曜日は教会での働きをしつつ、平日は一般社会人として福祉施設で働いておりました。鳥取信和教会への赴任が決まったのが年度末ということもあって、四月五月は、自ら「日本一通勤距離の長い牧師」と称して長距離ドライバーのように埼玉と鳥取を引越荷物或少しずつ運びながら往復する生活を楽しんでおりました。

実は鳥取信和教会は昨年召された母の母教会であります。また母の母、祖母も在籍しておりました。このように私は京都の城陽教会が母教会ではありますが、幼い頃から馴染みのある教会に、この度導かれたことに主の不思議な計画を感じております。

これから東中国教区の皆様に祈り支えて頂きながら、主からの使命を全うしたいと願っております。今後ともよろしくお願いいたします。

岡山教会 牧師 廣田和浩



二〇二三年四月から岡山教会牧師に就任いたしました。出身は滋賀県長浜市です。これまで、旭川六条教会(北海道)、倉敷水島教会(岡山)、尼崎教会(兵庫)、彦根教会(滋賀)の各教会に仕えてまいりました。また、尼崎ではみどり保育園、彦根ではノゾミ保育園の園長として務めました。倉敷水島教会に在任(一九九四年四月〜二〇〇〇年三月)していた頃、東中国教区の教会・伝道所の皆様との豊かな交わりが良き思い出となっております。このたび、主に導かれて、福音宣教のため、皆様との新たな歩みが始まりましたことを、とても感謝しております。岡山県を離れて二十三年、再び温暖な瀬戸内海に臨む町のひとつである岡山市に住むことになり、主が創造された自然の恵みを感じながら、与えられた働きに日々仕えております。どうぞよろしくお願いいたします。

「紺屋川の畔にて 高梁基督教会堂に就いて」

高梁教会 牧師 山本真司



高梁教会第二十二代牧師に招聘された山本真司です。同志社大学大学院を修了後、博士課程後期に在学し研鑽を続けながら大津教会伝道師・副牧師、ゲート・インステイテュートならびにH.E.K.S.奨学金を得て西ドイツ(当時)とスイス連邦ベルン大学に学びました。帰国後梅花学園 同志社で教務教師として二〇二一年まで奉職この間同志社教会 京都錦林教会 兼務担任教師その後 兵庫教区武庫之荘学園 理事長・幼稚園園長 今津教会代務者兼務を経て着任しました。高梁で牧会された寺崎暹先生がおられた京北教会に教会籍を置かせていただいたことも感謝と奇しきご縁を感じます。

「初心・所信」

鳥取教会 牧師 横山順一



今春、鳥取教会に赴任しました横山順一です。牧師館の二階窓から、鳥取教会と幼稚園の園庭が見渡せます。それはカトリックの鳥取教会です。四十年前余前、私はそこに通う信徒でした。当時、鳥取大学の学生で、学生YMCAでの影響を受け、牧師になろうと決意しました。それで湖山教会に転入会したのです。そうして今、隣接している日本基督教団の鳥取教会へ牧師として招かれました。神の計画の不思議さを想わずにはおれません。出発点に帰って来た訳です。その意味で、一からの再スタートです。あの頃の若さを取り戻すことは、もはや無理です。が、懸命に「初心」を心に鼓舞しているところです。内向きではなく、外に向けて声を挙げる者として、牧師人生を全うしたいと願っています。よろしく申し上げます。

新島襄 J.C.Berry Ovis Cary 金森通倫らが信仰の種を蒔き一四二年目を歩み出した高梁教会 会衆派の歴史と伝統を支えてこられた敬愛する教会員のみなさまと共に備中高梁に潜在するポテンシャルを見出したいと思えます。

「教区内異動教師の報告」

たけなかほいくえん 牧師 奥田 望



四月から、たけなかほいくえん副施設長として働かせていただいています。新しい仕事に戸惑うことばかり

ですが、園の職員の皆さんに温かく迎え入れていただき、支えられながら毎日をご過ごさせていただいておりますことを感謝しています。

実は、たけなかほいくえんに勤めさせていただく前まで、一六年間同じ東中国教区に属する倉吉上井教会において牧師として働かせていただいております。多くの教区の行事などの会場として来させていたただいていた倉敷の地に今、自分が暮らしていることもまだまだ不思議な思いでもあります。これまでとは全く違った仕事、生活環境、教会との関わりは、どれ一つとっても新鮮で、新しい発見にあふれています。そのような働きの中で、倉敷教会の宣教の業の一端を担うことができ、日々を感謝のうちに日々過ごしています。

美作落合教会 牧師 田中直子

この度、美作落合教会の主任担任教師として就任しました田中直子です。

私と夫は二〇一九年に津山城西教会

に赴任し、教区総会に出席させていただいて以来、久しぶりに皆様と再会することが出来、感謝でした。

私たちが津山城西教会に赴任した時、美作落合教会は長年の兼牧教会でした。今年創立百三十七年を迎える教会です。昨年、私が正教師資格を取ったことで、主任担任教師として招聘していただくことになりました。

主日礼拝は午後二時三〇分からで、十、十三人程が集っています。高齢者が大半ですが、小学生のお孫さん三名が最前列に座って、讃美歌を大きなきれいな声で歌います。小さな聖徒によって、教会全体が励まされ、力づけられ、前に進んでいます。イエス様に捕らえられていることを信じ、感謝と共に成長させていただきたいと祈っています。お祈りをお願いします。



米子錦町教会 牧師 廣田崇示

二〇二三年度より米子錦町教会に赴任しました廣田崇示と申します。



昨年度は、鳥取信和教会との

兼務、用瀬教会の代務を担っていましたが、本年度より米子錦町教会専任となりました。米子錦町教会は、キリスト伝道会「活水の群」に所属しており、鳥取信和教会も同じ群です。前任の小野澤照夫牧師のお勧めもあり、主の導きによって着任することになりました。

米子錦町教会は、祈りと交わりを大切にしている教会です。コロナ禍、兼務のため、いろいろな活動が制限されてきましたが、知恵をいただいて主にある豊かな交わりを体験する教会でありたいと願っております。

鳥取市にいた十三年間、皆さまのお祈りとお交わりによって支えられてきたことを覚えます。特に鳥取県東部地区の皆さまには大変お世話になり、心より感謝いたします。今後ともよろしくお願いいたします。

「狭山市民集会 ― 60年分の涙雨 ―」

湖山教会 山内英子

五月二十三日、日比谷野外音楽堂で、「狭山事件の再審を求める市民集会―無実を叫び六十年袴田再審に続け！東京高裁は事実調べ・再審開始を！」が開催されました。朝から止まない雨の中、全国から同じ思いを抱く仲間が集まりました。事実調べ、再審開始を求める署名は五十一万筆、二三四四団体に達しています。この日は、六十年前に石川一雄さんが、不当逮捕された日です。六十年の長さ思いを寄せてください。見えない手錠がはずれるまでは、ご両親のお墓参りはしないとされるその心中を察してください。「今日の雨は、私の涙の雨です。」と壇上で唇をかみしめる石川さんです。

この集會に先立ち、聖公会聖アンデレ教会を会場に「キリスト者前段集會」が行われました。キリスト教の各派、各団

体からのアピールと全国同宗連代表の曹洞宗からのご挨拶もありました。カトリック教会のシスターの証しもお聴きすることができました。その後、日本キリスト教団各教区の活動報告がありました。短い時間ではありましたが、心豊かな交わりの時間でした。これらの集會を企画運営しているのは、日本基督教団部落解放センターです。このセンターの働きを覚えて、どうかお祈りと献金をお願いいたします。

そして、一日でも早く、石川さんの見えない手錠をはずすために、共に祈り、行動できますことをお願いしたいと思えます。

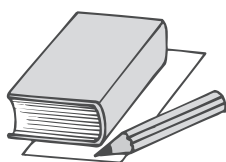


編集後記

西日本豪雨から五年、この時期になるとあの災害を思い起こします。つらい現実が眼前に置かれた出来事でしたが、主がかの地に今も大きな慰めと支えを注いでくださいますよう祈ります。

さて、今号のニュース誌では新任教師六名の方々のご挨拶を掲載しました。六名といえ、ここ数年で最も多いのではないかと思います。新しい教師の方々をお迎えし、新たな風を受けて、ポストコロナ・ウィズコロナと言われる新局面を乗り越えていくことができますよう願っています。

(W)



★ハラスメント相談窓口★

毎月第三水曜日 午前九時～午後九時
 イイミット ハナソウ
 電話番号 ○九〇―一三三三〇―八七三〇